



コウテイペンギンの営巣地と地球最南端・南極点への旅

EMPEROR & EXPLORERS

南極大陸のウェッデル海の南海岸、パークナー島の先の秘境、そこには、最も過酷な環境で子育てする事で知られるコウテイペンギンの営巣地があります。

そこにフィールド・キャンプを設営し、南極大陸の環境に適応した驚異のコウテイペンギンの観察と撮影を楽しみます。

続いて、地球最南端の南極点へと向かいます。100年以上も昔、南極点を目指した勇敢な探検家たちは、

計画に数年そして、数か月の間、大自然との壮絶な戦いを克服してようやく南極点に到達することが出来ました。

今、私たちは、安全で、快適に、短時間で先人たちが追求めた究極の目的地に到達する事が出来るようになったのです。

「コウテイペンギンの営巣地と地球最南端・南極点への旅」は、まさに夢あふれる究極の旅でもあります。

●期日と代金(大人/お一人様)

| コースNo. | 期日 | 期間 | 旅行代金 |
|-------------|---------------------------|-----|------------|
| Emps/Explr2 | 2015年 11月21日(土)～11月29日(日) | 9日間 | US\$69,850 |
| Emps/Explr3 | // 11月29日(日)～12月7日(月) | 9日間 | |

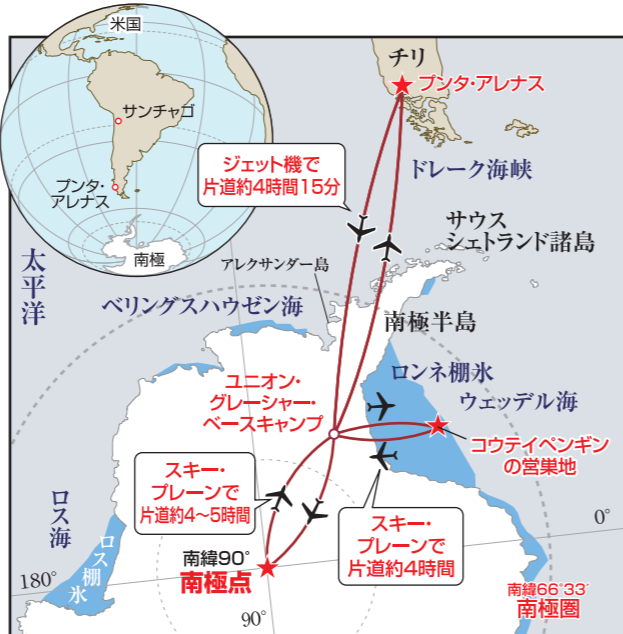
◆下記のスケジュールは、**モデルプラン**です。参考としてください。

この旅行には、**網かけの部分以外は、旅行代金に含まれておりません。**

網掛け部分以外の宿泊や食事代は、別途代金にて手配を承ります。

| 日次 | 月日(曜) | 都市名 | 発着 | 時刻 | 日程 | 宿泊 |
|----|------------|---------------------------|--------------|----------------------|---|---------------|
| 1 | 11/17(火) | 東京・成田 | 発 | 午後 | 成田発、空路米国内都市へ (国際日付変更線通過) | 機中 |
| | | 米国内都市 | 着 | 午後 | 着後、入国・通関手続き終了後、乗り換えて | |
| | | 米国内都市 | 発 | 夜 | 米国内都市発、空路サンチャゴへ | 機中 |
| 2 | 11/18(水) | サンチャゴ | 着 | 午前 | 着後、入国・通関手続き終了後、乗り換えて | |
| | | サンチャゴ フタ・アレナス | 発着 | 午後 午後 | サンチャゴ発、空路フタ・アレナスへ 着後、出迎えを受けて市内のホテルへ | フタ・アレナス |
| 3 | 11/19(木) | フタ・アレナス | 終日 | 予備日 ※南極旅行に備えて体調を整えます | フタ・アレナス | |
| 4 | 11/20(金) | フタ・アレナス | 午前 | 南極旅行の説明会及び装備品のチェック | フタ・アレナス | |
| 5 | ① 11/21(土) | フタ・アレナス UGC | 発着 | | 南極大陸へ向けて出発 ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ(UGC)到着 | 南極大陸 UGC |
| 6 | ② 11/22(日) | UGC | | | 機材の確認及び野生生物の紹介・観察についてのレクチャー | 南極大陸 UGC |
| 7 | ③ 11/23(月) | UGC 営巣地の近辺 | 発着 | | スキー・プレーンで営巣地の近辺へ向けて出発 着後、フィールド・キャンプを設営 コウテイペンギンの観察と撮影 | フィールド キャンプ |
| 8 | ④ 11/24(火) | 営巣地の近辺 | 終日 | | コウテイペンギンの観察と撮影 | フィールドキャンプ |
| 9 | ⑤ 11/25(水) | 営巣地の近辺 UGC | 発着 | 午前 | コウテイペンギンの観察と撮影 スキー・プレーンでUGCへ向けて出発 ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプに到着 | 南極大陸 UGC |
| 10 | ⑥ 11/26(木) | UGC | | | 南極点への飛行準備 | 南極大陸UGC |
| 11 | ⑦ 11/27(金) | | | | | |
| 12 | ⑧ 11/28(土) | | | | 南極点到達と南極大陸探検 | 南極大陸 UGC |
| 13 | ⑨ 11/29(日) | UGC フタ・アレナス | 発着 | | ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ(UGC)発、フタ・アレナスへ 着後、出迎えを受けて市内のホテルへ ホテルにチェックイン | フタ・アレナス |
| 14 | 11/30(月) | フタ・アレナス サンチャゴ サンチャゴ | 発着 着 発 | 午後 午後 夜 | フタ・アレナス発、空路サンチャゴへ 着後、乗り換えて サンチャゴ発、空路米国内都市へ | 機中 |
| 15 | 12/1(火) | 米国内都市 米国内都市 | 着 発 | 早朝 昼 | 着後、入国・通関手続き終了後、乗り換えて 米国内都市発、空路帰国の途へ (国際日付変更線通過) | 機中 |
| 16 | 12/2(水) | 東京・成田 | 着 | 午後 | 東京着後、通関・解散 | |

※交通機関ならびに時刻は変更になることがあります。 ※UGC/南極大陸「ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ」の略称



■詳細日程

●フタ・アレナス到着

チリのフタ・アレナスには、南極大陸へ出発する日の**2日前(48時間前)**迄にご到着ください。事前に到着日や便名、到着時刻をご連絡頂ければ、空港でお出迎えし、ホテルまで送迎いたします。

フタ・アレナス泊

●飛行準備

南極大陸へ出発する前日の午前中に飛行準備のための説明会が開かれます。飛行情報、最新の天候、南極大陸到着時の行動などについての説明があります。生涯における最高の旅ですので、お客様にご満足いただけるよう質問や同行する他のお客様との歓談のお時間も設けております。

説明会終了後、注文いただいたレンタルの衣料品をお渡し致します。南極に持って行く荷物の入念なチェックを行い、翌日の出発便に積み込む荷物をお預かり致します。尚、飛行機に持ち込む荷物の重量制限がありますのでご注意ください。

飛行機で訪れるにもかかわらず、世界で最も到達困難な場所の一つが私たちの目指す南極大陸内部です。

予定通り出発出来るようあらゆる努力を致しますが、天候に左右される飛行機の運航は、適切な判断により進められますので、予めご了承ください。

フタ・アレナス泊

第1日目 南極大陸への飛行

朝、南極大陸の最新状況をお客様の滞在ホテルに電話連絡いたします。南極大陸への飛行に支障がなければ、ホテルまでバスでお迎えにあげります。フタ・アレナス空港でチャーター機に乗り込みます。南極大陸までは、4時間15分ほどの飛行を予定しています。

飛行ルートは、ドレーク海峡を越え、南極半島の西側、エルズワース山脈の峰々をたどり、ユニオン氷河のブルー・アイスの滑走路に着陸します。ここから、南極大陸での第一歩を踏み出します。特別仕様の4輪駆動のバンで、約8km離れたベースキャンプに向かいます。ベースキャンプではフレンドリーなスタッフがお出迎えし、簡単な説明後、宿泊施設へのご案内いたします。

南極大陸/ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ泊

第2日目 南極大陸の環境に順応

今日は、南極大陸の環境に順応する一日となります。南極大陸でのキャンプや生活についてのオリエンテーションに参加し、ガイドと一緒に探検手順のおさらいをし、そしてナチュラリストによる沿岸の野生生物やその観察のしかたについてのプレゼンテーションをお楽しみください。

また、残りの時間はリラックスしたり、周囲を探検したり、希望者は軽めの活動に参加することもできます。コウテイペンギンの営巣地への旅を存分に楽しむために十分に休養してください。

南極大陸/ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ泊

第3～4日目 コウテイペンギンと過ごす

朝食をゆっくりと済ませた後、荷物をまとめ、スキー・プレーンでウェッデル海の南海岸の秘境を目指します。ロンネ棚氷の上空を北東方向に飛行し、パークナー島の先へと向かいます。飛行時間は約4時間を予定しています。私たちは、コウテイペンギンの営巣地から1.6kmほど離れた多年氷の上に着陸します。そして、ANI社のガイドたちが飛行機の傍らに簡易ながらも快適なフィールド・キャンプを設営します。

キャンプと営巣地間を安全に往復するための再確認をします。日常とは違った秘境では、ガイドの安全指導に必ず従って頂くようお願いいたします。これから3日間にわたって、営巣地の光景や音、リズムに没頭することでしょう。ガイド付きの散策やANI社のナチュラリストからコウテイペンギンの習性について学びます。また、お客様のペースで探検や写真撮影をお楽しみいただく事もできます。

毎日、新たな発見があることでしょう。親鳥がヒナに餌を与えたり、雪原を滑り降りたり、暖を取るため身を寄せ合ったりするヒナを目にしたり、交響曲のような鳴き声を聞いたりすることでしょう。それぞれの声がユニークで、何千羽ものコウテイペンギンの中に居ながら親鳥とヒナの呼びかけでお互いの居場所を見つけ出せるのは驚きです。

24時間の昼光により、好きなだけ屋外で過ごすことが出来ます。白夜の柔らかな光により多彩な写真撮影をお楽しみ頂けます。夜中に起き、昼間に寝るという事もあるかも知れません。



フィールド・キャンプは基本的なものです。就寝用の快適な山岳用テントや大きなダイニング・テント、アウトドア用の個室トイレも備えています。施設は必然的に軽量かつ運びやすく、南極大陸で最大級の嵐にも耐えられるよう設計されています。また、キャンプ地と営巣地との間で、カメラなどの機材を運搬するのに便利な小型のソリも用意しています。

お食事は、ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプのキッチンで調理した冷凍食品や温かいスープ、冷たい肉製品、チーズ、オートミール、卵、麺類、軽食などを用意しています。食事の時間は柔軟ですので、昼光や気分に合わせて探検や撮影ができます。

フィールド・キャンプ泊

第5日目 ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプに帰還

フィールド・キャンプ滞在の最終日は、荷物をまとめ、スキー・プレーンでユニオン・グレイシャー・ベースキャンプに帰還します。

南極大陸/ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ泊

第6日目 ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ滞在

快適なキャンプ生活を楽しみ、南極点への旅の準備を整えます。

南極大陸/ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ泊

第7日目 南極点への飛行

いよいよ探検家たちの聖地「南極点」へと出発します。目的地までの飛行は約4～5時間を予定しております。降機とともに7つめの大陸の中心地・地球の地軸たる厳然とした雰囲気と心を打たれることと思います。

標高3,350mもの厚い氷に覆われ、地球を取り巻く360本の経線が収束する地球最南端の地、多くの探検家の心を捉えて離さなかった南極点。富と名誉と名声を求め、探検家たちは、生命を危険に晒し、人生をこの「南極点到達」に捧げました。

ここでは「地理上の南極点」と、南極条約の締結を記念して造られた華やかな「セレモニアル・ポール」を訪れます。さらに、アムンゼン・スコット基地内では、南極点で行われている特別な研究について知識を深めて頂くことができます。また、記念品等を購入することもできます。南極点は環境及び科学調査、歴史的な価値を認められた南極特別管理地区(ASMA #5)の保護下にあります。滞在中は常に「南極訪問者のためのガイドライン」に沿って行動して頂きますようお願いいたします。

再び、スキー・プレーンにて、ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプに帰還します。南極点到達の偉業に乾杯し、シェフが腕を奮った食事会が開かれます。

南極大陸/ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ泊

第8日目 ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ滞在

風光明媚なユニオン氷河の探検をお楽しみください。7日目の天候が悪天候だった場合、「南極点への飛行」はこの8日目に行われます。

南極大陸/ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ泊

第9日目 フタ・アレナス着/解散

チャーター機にて南極大陸を後にします。フタ・アレナス空港到着後、ANI社のスタッフがお出迎えし、ホテルまで送迎いたします。

フタ・アレナス泊

●活動レベル「中」程度/ややチャレンジが必要。

- ①フィールド・キャンプでの外気温:-30℃前後、猛吹雪に見舞われることもあります。コウテイペンギンの営巣地まで、起伏のある氷上あるいは雪原を片道約1.6km歩く必要があります。
- ②南極点の標高は、約3,350m。気温:-40℃～-25℃

